

Suma Tomogaoka 通信



兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和5年度 第5号 3/22

令和5年度 第25回兵庫県総合学科高等学校研究大会 開催

令和6年2月3日(土)、兵庫県立豊岡総合高等学校にて、第25回兵庫県総合学科高等学校研究発表会が開催され、本校からは3年次の下川いずみさんが参加しました。この発表会は、県下の総合学科15校が集い、各校の学びを発表するとともに、相互に交流し、学びを深める場です。当日は豊岡総合高校をはじめとする4校の発表を体育館で行ったのち、各教室に分かれて11校の発表が行われました。発表後のグループワークでは、各発表の印象に残った点や学校ごとの違いについて、異なる学校の生徒同士で話し合い、最後には今後の目標を設定する時間がもたれました。



令和5年度 第22回総合学科発表会 開催

令和6年1月27日(土)、第22回総合学科発表会が開催されました。発表会の直前に、急遽プログラムを変更して2年次のポスターセッションを延期することになりましたが、当日はどの発表者もステージで堂々と発表してくれました。十分な準備ができない中での開催でしたが、1年間の取り組みの成果が見える発表会でした。



発表者にとっては、自分自身の学びを他者に伝えるという行為を通して、自信を培い、達成感を感じられる体験になったと思います。また、発表を聞いていた生徒にとっては、2年次は自分の研究をより深めたいと考えたり、1年次は次年度の課題研究が楽しみになったりと、前向きな意欲を感じることができました。

〈生徒感想〉

- ・来年からの課題研究の授業が楽しみになってきた。テーマについてとことん調べ、失敗を恐れず研究しようと思った。
- ・2年生や3年生の課題研究の発表は、とても説得力があり考えられているもので、これからの私たちにとって、とても参考になりました。アドバイスや今回学んだことをしっかりと自分のものにしていこうと思います。
- ・これからは様々なことに問いを持ち、多くの人の意見を聞きつつも、自分が正しいと思う答えを見つけていきたい。

40回生2年次課題研究 外部発表 「令和5年度 兵庫県立高等学校探究活動研究会@神戸国際会議場」

2月10日(土)、神戸国際会議場において令和5年度兵庫県立高等学校探究活動研究会が開催されました。本校からは2年次の中村優希さん、栢野舞祐さん、村上晴香さん、前田雛璃さん、能島侑里さんの5名が参加しました。基調講演は大阪教育大学イノベーションデザインセンターの仲矢史雄教授のお話でした。生徒各自のスマホを活用した双方向参加型の講演では、探究活動における”比較と対比”の重要性について学びました。午後には各自が20分×2回のポスター発表ならびに2回の聴講をおこないました。大きな会場での発表のため、緊張が感じられましたが、発表が始まるとジェスチャーも交えて聴講者に熱心に説明する姿が見られ、10分間の質疑応答では白熱した議論が飛び交いました。この経験が、今後の課題研究に活かされることを願っています。



〈生徒の感想(抜粋)〉

- ・大阪教育大学の教授から課題研究のコツについて講義を聞き、調べ学習から課題研究に発展させるには、テーマと似ている何かを見出す『比較』と2つの事柄の違いと同一点を明らかにする『対比』が大切だと分かりました。これらは研究の中で無意識のうちに取り入れていたけど、改めて自分の中で意識付けたいと思います。
- ・ポスター発表を通して、聞いてくれる人が目を見てくれると、発表者は安心して発表ができる事や、発表する時は聞いてくれる人の目を見て話す事が大切だと改めて気がつきました。質疑応答では、新しい視点からの意見や提案をもらい、さらに研究を深めたいという気持ちが高まりました。始まるまでは、うまく発表できるか不安や緊張がありましたが、始めてみると緊張も解けてとても楽しく、刺激的で充実した1日になりました。

第9回高校生国際シンポジウム

2月21日～22日、第9回高校生国際シンポジウムが鹿児島県の宝山ホールで開催され、本校2年次の前田雛璃さんがポスターセッション部門に参加しました。全国各地からの参加者を前に堂々と研究成果を発表し、審査員や参加者からの質問を通して、自身の研究の可能性や課題に気づくことができました。2日間の日程の中では、発表以外にも基調講演、パネルディスカッション、進路座談会など、さまざまな企画が用意されており、これらを通して自分の生き方やこれからの進路を考えることができ、貴重な機会となりました。



1年次クロスカリキュラム探究・2年次課題研究ポスターセッション

3月4日(月)学年末考査終了後の2,3限目に、ポスターセッションが行われ、1年次生はクロスカリキュラム探究の成果を発表、2年次生は課題研究の成果発表を2回おこないました。1年次生は先輩を前にして緊張しながらも多くの生徒が原稿を見ずに堂々と発表しました。また、先輩の発表の聴講を通して来年の課題研究に向けてのイメージを掴みました。2年次生は、今年、約40名の生徒が外部で発表したこともあり発表の口調に落ち着きを感じられました。1年次生、2年次生ともお互い質疑応答を通して研究を深め合い、今後の研究のヒントを得た充実の2時間でした。

〈生徒の感想 ー1年次生のクロスカリキュラム探究の発表を聞いてー〉

- ・(1年次生)
- ・初めての経験で原稿を見ずに発表することは大変だったが来年に活かせる良い経験になった。
- ・2年生の前での発表はとても緊張した。質問に対して答えるのに少し時間もかかるなど反省点が多い。
- ・自分たちが調べたものを実際に短くポスターにまとめるのは難しかったが、その分やりがいを感じた。何回もみんなで練習していいものができてよかった。
- ・(2年次生)
- ・オノマトベに関する発表を聞いた。それがもたらす効果を一人一人が違う視点で研究していたのはとても面白かった。
- ・他の県との比較や具体例、仮定などがしっかり考えられていて良かった。
- ・なぜそのテーマに興味を持ったのかという理由を発表できていて良いと思いました。参考にした文章やネットの出所をもう少し知りたかったなとも思いました。



〈生徒の感想 ー2年次課題研究の発表を聞いてー〉

- ・(1年次生)
- ・1人で話すことはすごいなと思いました。質問に丁寧に答えてくれる方もいて私も2年になったとき頑張りたいと考えました。
- ・質疑応答などで質問があまりできなかったことは少し後悔している。しかし来年の課題研究などの方法を知ることができた。
- ・来年の自分の課題研究に向けてテーマなど参考になることが沢山あった。
- ・(2年次生)
- ・同じようなテーマでも見方や参考資料が全然違って面白かったです。
- ・ポスターでは伝わらない部分を言葉でしっかり説明していたのでわかりやすかった。
- ・少し緊張したけど、1年生がちゃんと聞いてくれて、質問までしてくれたのでやりがいがありました。
- ・自分の発表では聞いてくれている人の方を見て話すことを意識し、伝えたい内容をしっかりと伝えることができた。反省点は質疑応答の時間で質問が出なかった時の補足説明が不足していた。

「with… 若き女性美術作家の生涯」鑑賞会(1年次)



3月7日(木)の「産業社会と人間」の時間に「with… 若き女性美術作家の生涯」を鑑賞しました。本校卒業生である佐野由美さんの生き方をテーマにしたドキュメンタリー映画です。1階ロビーには佐野さんの絵画が飾られていますが、大抵の生徒が今回の鑑賞会で、いつ、どこで、誰が、どのような気持ちで描いたものかを知ることになったと思います。生徒たちは今回の映画を見て、佐野さんの生き方・考え方に感銘を受け、自分が今後の高校生活でどのような行動をしていくべきか道標ができたように思えます。

〈生徒の感想〉

- ・由美さんのようにまだ行動に移すことはできないけれど、何時か私も行動に移すことができるようになりたいと思いました。
- ・私は佐野さんの絶望から光をみつけて這い上がっていく姿勢にとても勇気づけられて、自分ができることを精一杯やり切る大切さを学びました。
- ・私自身、まだまだ未熟で人生やりたいことがまだまだあります。私も佐野さんのようにやりたいことはやって、他人にも勇気を与えるような人望の熱い人になって、「楽しかった」と思える一生を作りたいです。

課題研究に向けての講演会(1年次)

3月8日(金)、神戸女子大学より鈴木宏節先生、曾田里美先生をお招きしました。第1部では鈴木先生より「なぜ研究するのか?」と題して、課題研究に取組む意義やテーマ設定のコツなどのお話を伺いました。第2部では曾田先生の研究内容をご紹介いただき、研究とはどういうものか、どのような手法でどう活かしていけるかをお話していただきました。最後に、第3部でお二人の先生が対談形式で、曾田先生がどのような経緯で今のテーマで研究をするようになったのかを伺いました。大学の先生から具体的に研究内容を伺うことができ、2年次から始まる課題研究を進めていくに当たり、取り組み方についてのヒントがたくさんありました。



キャリア講演会(1年次)

3月5日(火)、一般社団法人イドミィより代表理事の高橋惇さんをお招きし、「一歩ふみだすことの大切さ」を主題に講演をいただきました。高橋さんからは、自転車での日本周回の体験や、それをきっかけとしたたくさんのお話やエピソードをもとに、ユーモアたっぷりにお話していただきました。生徒たちは高橋さんが発する言葉に感動し、休憩の間も高橋さんを囲んで質問する姿が見られました。また、自分のやりたいことを貫く高橋さんの姿勢に刺激を受けていたようです。今後、この話を聞いた生徒たちが、将来に向かって一歩ふみだすことを期待します。



神戸市立横尾小学校とのNIE 小高連携授業

2月2日(金)、生徒会役員が神戸市立横尾小学校を訪問し、小学6年生に新聞を使った防災に関する授業を行いました。まずは、防災ジュニアリーダーとして東北訪問で得た学びについてのお話をし、その後、阪神・淡路大震災と今年1月に起きた能登半島地震の避難所生活を報じた新聞記事を用いてグループワークを行いました。新聞記事から「避難所で困っていること」を読み取り、そこから見える共通点や、どのような支援が必要かを話し合い、最後は全体で発表を行いました。高校生にとっても、小学生に教えるという体験を通して防災や新聞報道に関する意識が変化するという貴重な機会となりました。

